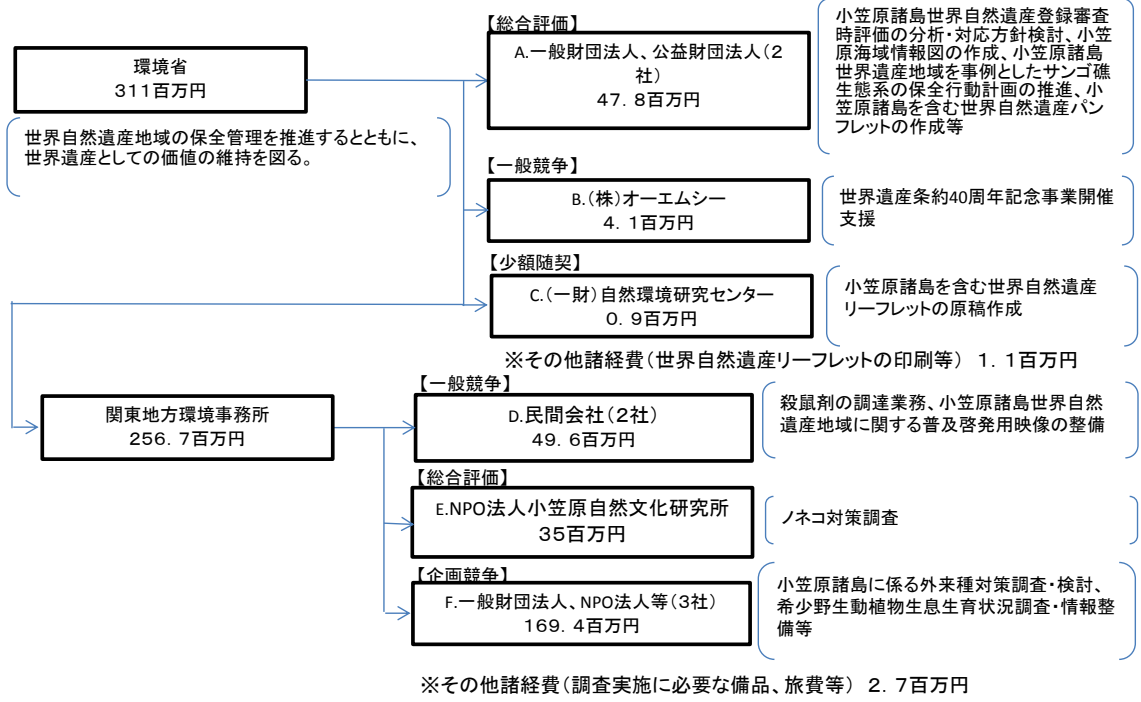


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	世界遺産委員会の勧告を踏まえた小笠原諸島保全管理対策		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	自然環境計画課		課長 亀澤玲治		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	世界遺産条約第4, 5条		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	平成23年6月に世界自然遺産に登録された小笠原諸島は、登録の際の決議において侵略的な外来種への対策の強化継続が求められている。このため、外来種対策、希少種保全等に係る取組を推進し、我が国が国際社会に約束した将来にわたる小笠原諸島の世界遺産としての価値の保全を図る。なお、世界遺産の価値を構成する要素が喪失した場合には、世界遺産としての根拠を失うこととなり、危機遺産に登録される場合や世界遺産一覧表からの削除も想定される。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	小笠原諸島は陸産貝類をはじめとする生物相が生物進化のプロセスを顕著に示していることが世界遺産の価値として認められている。この世界遺産としての価値を維持するために、外来種対策などの総合的な保全対策の実施に係る全体構想を作成すると共に、小笠原諸島の顕著な普遍的価値の保全状況を把握し、今後の適切な対策の立案・実施に資するため、世界遺産地域の自然環境に関する総合的な調査を実施する。特に外来種対策については緊急の課題に対応する技術的手法の確立のための実証試験等を実施するとともに、新たな外来種の侵入拡散防止対策について検討を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	-	0	108	0	0	
		補正予算	-	727	0	0		
		繰越し等	-	△722	722	0		
	計	-	5	830	0	0		
	執行額	-	5	311				
執行率 (%)	-	100	37					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	小笠原諸島世界遺産地域の保全管理の推進と世界遺産としての価値の維持を目的とした事業であるため、定量的な成果目標を示すことは困難。		成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	・外来種対策等全体構想の作成 ・外来種対策に係る実証試験等の実施		活動実績 (当初見込み)	件	-	(-)	外来種対策行動計画(案) 1件作成 (全体構想1件策定)	- -
	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	・自然環境総合調査の実施		活動実績 (当初見込み)	件	-	(-)	希少動植物総合調査実 施、海域情報図作成(1件)	- -
単位当たり コスト	-		算出根拠	-				
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	前年度限りの経費		-	-	-			
	計		-	-				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産登録地域を適切に保管理することは、締約国の義務である。 小笠原諸島の世界遺産としての価値を構成する陸産貝類は侵略的な外来種の影響を受けやすく、価値の保全のために適切な対策を行わない場合には、世界遺産としての価値が損なわれ、危機遺産リストに掲載される恐れがある。 	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> 支出先の選定にあたっては、透明性・公平性・競争性を確保するため、一般競争や総合評価・企画競争方式を導入している。 不測の事態により外来ネズミ対策事業の内容見直しの必要が生じ、事業実施が困難となったため、不要額が発生した。(外来ネズミ対策については、当初想定していた駆除手法で根絶達成が可能と考えられていたが、年度途中で同手法で根絶を達成したと考えていた地域からネズミが再発見され、更にこれを受けて専門家からも手法について疑義が示され、手法について見直しが必要となったため、事業実施が困難。) 	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	<ul style="list-style-type: none"> 希少動植物や外来種に関する生息生育情報を収集するとともに、「新たな外来種の侵入・拡散防止対策に関する行動計画」の作成・策定を進めており、希少種の保管理や外来種対策に関する効果的な取組の検討を行っている。 行動計画の策定により、関係機関等との連携・役割分担による希少動植物の保管理や外来種対策がより一層推進されることが見込まれる。 	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 「新たな外来種の侵入・拡散防止対策に関する行動計画」の策定等により具体的な対策が示されるとともに、関係機関等との役割分担が明示され、連携による更なる対策の効果的・効率的な推進が見込まれる。 本予算においては、小笠原諸島の希少な動植物種の把握調査や外来種対策の検討を重点的に実施してきた。平成25年度からは「遺産地域等貴重な自然環境保全推進費」に組替え計上し、本予算の成果を踏まえた希少種の保管理や外来種対策の検討、関係機関等との連携・役割分担による管理体制の強化など、一体的な事業の実施に努める。 なお、外来ネズミ対策事業の内容見直しの必要が生じ、事業実施が困難となったため、不要額が発生した。 				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	-	平成23年	24'新-027	平成24年

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(一財)自然環境研究センター			F.(一財)自然環境研究センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究主幹、主席研究員等 248人日	7.9	人件費	研究主幹～研究員B 延べ905人日	26.2
諸謝金	有識者ヒアリング4人時、懇談会委員35人日	0.53	旅費	職員出張旅費	7.7
旅費	有識者ヒアリング2人回、懇談会委員40人回	2	借料及び損料	備船費	5.6
借料及び損料	会議5回	0.5	印刷製本費	報告書	0.1
印刷製本費	懇談会資料15部×5回、報告書20部	0.2	賃金	屋外作業	10
一般管理費		1.32	消耗品費	ワナ、殺鼠剤等	2
その他	その他	0.12	一般管理費		6.97
消費税及び地方消費税		0.63	消費税及び地方消費税		2.93
計		13.2	計		61.5
B.(株)オーエムシー					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	シンポジウム、最終会合開催業務	0.20			
諸謝金	シンポジウム講師等謝礼	0.20			
旅費	シンポジウム及び最終会合に係るスタッフ、出席者旅費	3.07			
借料及び損料	シンポジウム会場借料	0.09			
一般管理費		0.25			
その他	その他	0.04			
消費税及び地方消費税		0.25			
計		4.1	計		
D.大塚薬品工業株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	労務費	8			
旅費	打合せ交通費	0.1			
借料及び損料	薬剤保管料	3.2			
一般管理費		31.6			
消費税及び地方消費税		2.1			
計		45	計		
E.NPO法人小笠原自然文化研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		35	計		

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	小笠原諸島世界自然遺産登録審査時評価の分析・対応方針検討等	13.2	1	97%
2	(一財)自然環境研究センター	小笠原諸島世界遺産地域を事例としたサンゴ礁生態系保全行動計画の推進等	12.6	1	83%
3	(公財)日本生態系協会	小笠原海域情報図の作成	11.7	3	38%
4	(一財)自然環境研究センター	小笠原諸島を含む世界自然遺産パンフレット及びウェブサイト作成	10.3	1	85%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	世界遺産条約40周年記念事業の開催支援	4.1	4	56%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	小笠原諸島を含む世界自然遺産リーフレットの原稿作成	0.9	少額随契	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大塚薬品工業(株)	小笠原諸島で使用する殺鼠剤の調達	45	1	100%
2	(株)アクション	小笠原諸島世界自然遺産地域に関する普及啓発用映像の整備	4.6	5	50%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人小笠原自然文化研究所	小笠原国立公園ノネコ対策調査(後期)	35	1	98%

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	小笠原国立公園外来ほ乳類対策調査	61.5	企画競争	-
2	(一財)自然環境研究センター	小笠原群島母島及び離島の希少野生動植物生息生育状況等の総合調査	39.2	企画競争	-
3	NPO法人小笠原自然文化研究所	小笠原国立公園ノネコ対策調査(前期)	34.2	企画競争	-
4	(株)ブレック研究所	小笠原希少野生動植物種の生息生育環境に関する地理的情報整備	28.5	企画競争	-
5	(株)ブレック研究所	小笠原諸島世界自然遺産地域における新たな外来種の侵入拡散防止対策の検討	6	企画競争	-